

# 特進 S コース通信

第02号第1版/平成27年10月16日(金)

発行：明秀学園日立高等学校特進Sコース

みなさんこんにちは。「秋」が少しずつ深まり、2学期前半期もいよいよ大詰めです。Sコース内では、学年・クラスごとに、さまざまな活動が進行中しています。この時点で、前半期の状況を振り返るとともに、これから進む道を考えてみましょう。

## 1 「夏」から「秋前半」の取り組み

■GMARCHの双壁「法政大」「中央大」に学べ！1・2年生が日立シビックセンターでの進路講演会に参加

### 01 大学の先生方のお話で、将来像をイメージ

7月28日(火)午後、日立シビックセンター多用途ホールにおいて「法政大学」と「中央大学」の先生をお迎えし、ST・Sコース1・2年生対象の進路講演会を行いました。両大学は、多くのコース生諸君が目指す人気大学でもあるため、参加者諸君は思い思いにメモをとりながら、真剣な面持ちで講演に聞き入っていました。

### 02 進路決定を目標設定の場に

講演会は、矢野教頭先生のお話からスタート。講師の先生をご紹介されたあと、「憧れの大学である法政大学・中央大学に、しっかりと学力をつけて学科試験で合格することが全員の目標。今日の講演は、両大学とその試験の特徴をよく理解してこれから自分がすべきことを考える目標設定の場にしてほしい」と述べられました。

### 03 日本の近代を担う伝統の両私大、その矜持

各30分にわたる講演では、両大学が学生に求める資質を伺いました。法政大学では、「自由と進歩」「進取の気象」の校風があり、学生が自由な発想で様々なチャレンジを行っているそうです。大学の特徴としては①高い就職率、②グローバル、③学生力、④クラブとサークル、という4つのキーワードが挙げられました。一方中央大学では「行動する知性～Knowledge into action～」と謳っているとのこと。常に新しいことにチャレンジし、その成功・失敗の経験から学びを得ることを重視されているそうです。学内には、レベルの高い国家試験への挑戦を支援する体制なども設けられているとのことでした。

19世紀末創立、日本の私立大学の草分けである両大学では、自由な環境のなかで自らアクティブに学ぶ学生であることが求めているといえそうです。

### 04 高校の学習生活に対するアドバイスも

講演では、高校での毎日の学習についてのアドバイスを頂きました。①高校の授業と予・復習を重視して教科書の内容を確実に理解する、②基礎力と総合力をともにしっかりつける、③知識詰め込み型の勉強でなく学んだことを生かして考える習慣を身につけよう(中央大星野先生)。また一足早く、大学入試についても言及されました。①私大が実施するさまざまな一般試験のタイプを上

手に利用するとよい、②出題内容には大学ごとに傾向をもっている、過去問を丁寧に分析しよう(法政大平田先生)。大学の先生方のお話を伺うと、大きな関門である大学入試とはいえ、特別な準備があるわけではなく、毎日の学習内容をいかに身につけ行動に移すかが大切であることがわかります。今後大切にしたい考え方です。

■大学に進んだ先輩の姿に「将来の自分」を考えよう！

### ST・Sコース「夏の進学フェス」開催

8月19日(水)午後、ST・Sコース1・2年生対象の「夏の進学フェス」が開催されました。このイベントは、ST・Sコース卒業の現役大学生をゲストに迎え、大学生生活の醍醐味や高校時の進路先決定ポイントなどについて直接お話を伺う機会として、例年実施されているものです。会は1年生向けと2年生向けに分けて2回行われました。両回とも、第一部は全員が一つ会場に集まり先輩方に様々なインタビューを行うかたちで、第二部は、先輩が専門・専攻分野ごとに分かれ希望生徒にアドバイスをくださるかたちで行われました。

現役大学生の実感に学ぶこの機会では、毎年、情報誌や一斉講演からは得難いお話が聞かれます。分野決定時の注意点、大学の授業における苦勞、サークルやアルバイトなどの日常生活、先輩方の将来の目標などまで、話題は大きく広がり、生徒諸君は一つひとつの話に聞き入ります。「先輩方のかっこいい姿に憧れを抱きました(2年男子)」「今迷っている進路についてアドバイスをもらえたので、参考にして考えてみたいです(1年女子)」。

2学期は、1年生にとっては文系・理系の系統を始める時期、2年生は進むべき学部学科を具体化させていく時期と位置づけられます。今回の経験は、その絶好の端緒になったといえそうです。

### コラム①おかげさまで90年。受け継ぐは「白梅の精神」

9月5日 明秀日立は創立90周年を迎えました

明秀学園日立高等学校がその前身の学校としてここ日立に学び舎を開いたのは、1925年(大正14年)9月のこと。日本は関東大震災の二年後、治安維持法や普通選挙法が成立した年のこと、まさに激動中の第一歩でした。今、私たちが学園生活の拠り所とする「明るく、清く、凛々しく」の言葉は、当時学祖荒川川まん先生が、たとえ困難のなかにあってもなお颯爽たれと掲げたもので、それは寒空のなかいち早く花をつけ春の訪れを告げる「白梅」に象徴され、以来ここに学び巣立っていった2万3千人を超える大勢の先輩方の手によって脈々と受け継がれてきました。

校歌にも詠まれるこの精神は、私たちに、自身がどんな苦境にあっても、また社会が変化動揺しようとも、しっかりと野に根差し、陽を見据えて懸命に生よと教えます。そしてまたそうあるためにこそ「学問」が要るのだと論じます。学校の「精神」とは校舎のどこかに置いて在るのではなく、学ぶ「人」がそれぞれ「心」に宿し、育み、伝えるものではないでしょうか。

朝校門に入る意味、毎時の授業、人との関わり。それらを振り返ってみたとき、コース生諸君。今日一日、私たちは「白梅」であることができたでしょうか。

## 2 第2学期前半の目標と生活

### ■ 「生活」「学習」それぞれの目標を確認

#### 01 学園生活第3ステージ到来 秋は深化の季節

「第一学期」「夏期」に続く、第3ステージにあたるのが第二学期です。その前半が経過しようとするこの時点で、今期の目標について、改めて考えておきます。

〔9・10月の生活目標〕\*\*\*\*\*

3年生「社会性を養う③」

- ☆ 自己の学習習慣や学力の現状を確認し、第一目標達成までのプロセスを考える

2年生「自己理解を深める③」

- ☆ 計画策定・進捗管理を行って、学校生活や学習状況を自律的に送る習慣を養う。

1年生「自己理解を深める①」

- ☆ 大学の学部・学科やその「研究」について調べながら自己の適性について考える

〔9・10月の学習目標〕\*\*\*\*\*

3年生「受験基礎力完成」(演習期を前に)

- ☆ 教科書内容の体系的理解
- ☆ 理解度分析(強みと弱点→対策)
- ☆ センター入試出願・推薦入試出願

2年生「自学力増強」(模試5教科化に向けて)

- ☆ 英国数3教科の学習サイクルを確立
- ☆ 理社科目の学習法を考える

1年生「授業集中」

- ☆ 予習をして「授業」へ
- ☆ 宿題・復習テスト等への取り組み強化

3年生は、具体的な計画に基づき、その進捗をチェックしながら、受験基礎力の完成を目指します。全国模試の得点率などをもとに的確な現状分析を行うとともに、未成分野の補充に努めなければなりません。12年生はともに「自己理解」を深めることがテーマです。日頃の学習はもとより、課題研究や調べ学習、読書や特別活動など、さまざまな経験や他者とのかかわりのなかで、自己の特性について考える時期だといえます。

### ■ 学級のまとめ役は皆実力者ぞろい。クラスメイトと協力してよりよい「ホーム」づくりを目指します。

#### 第2・3学期 学級正副委員長決まる

学園生活の後半戦、各クラスの牽引役となる正副委員長が決定し、9月9日(水)の認証式において、全校生の前で正式に認証を受けました。Sコースの顔ぶれは、今回初めて委員になった人、前半一学期より継続して担う人とさまざまですが、行動力や発言力に、そして寛容や奉仕の精神にも富んだ実力者ぞろいです。それぞれの集団をしっかりとまとめてくれることが期待されます。

コース代表として登壇したのは3年3組の酒井君。委員全員の思いをまとめて、次のように決意を表してくれました。「僕達3年生にとってこの2学期はそれぞれの進路に向けて躍進していく大事な時期です。クラスのみんなが不安を抱き緊張した生活を送る中、校舎の改装工事も終わり勉強に集中する環境が整ったので、これから仲間と切磋琢磨しながらやるべきことをしっかりとし、希望に満ちた将来に向けて頑張りたいと思います。」

〔特進Sコース2・3学期HR委員〕\*\*\*\*\*

3年2組	小林学級	正委員長	柿崎 亮
		副委員長	岡 祐希
3年3組	本井学級	正委員長	酒井 章広
		副委員長	猪狩 有生
2年3組	柴田学級	正委員長	小泉 花野
		副委員長	桃井 美空
2年4組	五十井学級	正委員長	筒田 聡志
		副委員長	岩下 湊
1年3組	水本学級	正委員長	田所 佳吾
		副委員長	藁谷 拓海
1年4組	北川学級	正委員長	志田菜々美
		副委員長	鈴木 瞳子

ホームルーム(クラス)は、学校生活の最も基本的な単位とされ、文字通り「ホーム=家」であるとともに、さまざまな考えを持つ人の集まる「社会」でもあります。リーダーはメンバーの牽引者ではあっても、そのリーダーに力を発揮させるのは彼らを支えるメンバーです。互いが真に「安心」して生活を送り、自分を素直に「表現」でき、ともに成長し合える環境・精神風土をつくっていきましょう。

### ■ 何をするにもよい季節。第2学期前半の主な学校行事

#### 学習・休日・スポーツ等々、抑揚効いた生活が鍵

〔第2学期前半(9・10月の主な行事)\*\*\*\*\*

8月	27日	全学年	第2学期始業式・4限から授業
	29日	全学年	週休日・ニュース検定
	30日	3年生	河合塾第2回全統記述模試(会場)
9月	4日	全学年	式典リハーサル・2限まで授業
	5日	全学年	創立90周年記念式典
	7日	全学年	代休(9月5日分)
	9日	全学年	学級正副委員長認証式・B日課
	21日	全学年	敬老の日・休業日
	22日	全学年	休業日
	23日	全学年	休業日
	24日	12年	スタディーサポート第2回
		3年生	第2回ベネ駿マーク模試1日目
	25日	3年生	第2回ベネ駿マーク模試2日目
	27日	申込者	世界遺産検定(第22回)
	30日	全学年	M日課
10月	1日	全学年	衣替え(移行期間9/24~10/7)
	3日	申込者	数学検定
	5日	3年生	第3回全統記述模試
	7日	全学年	B日課 第2回防災訓練
	10日	申込者	英語検定(1次)
		全学年	中間考査前日課(~13日)
	12日	全学年	体育の日・休業日
	14日	全学年	第2学期中間考査(~16日)
	16日		コース集会(S=多用途ホール)
	17日	3年生	第I期特別編成授業開始
	20日		模擬試験
	29日		模擬試験

毎日の生活を漠然と受け身の姿勢で過ごしてはもったいない。それぞれの取り組みの意味を考えつつ、自分なりの関わり方を見出してゆきましょう。

### 3 Sコースの進路を考える

〔1・2年生の取り組み〕(9月～10月)

#### ■ 今年度前半の学力定着状況と、学習習慣を評価する「スタディーサポート」を受験しました。

##### 01 受験基礎学力を測定します

スタディーサポートは、一般にいう模擬試験とは少々異なるテストで、主なねらいは基本事項の定着率を測るところにあります。例えば「進研模試」であれば、全国平均点が30点代/100点満点ということもありますが、こちらはまず70点以上獲得を目標に、できれば満点を狙っていきたくところです。言い換えればこのテストは、自分の習得できていない箇所を点検するためのものでもあります。「テスト」＝「試験」は、あくまで「ためし」ですから、何点・何割取ったということで終わってしまっは、あまり意味がありません。試してみても不具合を見つけ、しっかりそこに対処することこそ、本当に大切な取り組みだといえます。大事なのは受験直後。受験時の思いがしっかり残っているうちに振り返り、復習計画を立てるようにして、確かな実力を養います。

##### 02 「学習計画」の運営が大切

現在1・2年生は、「学習内容」を管理するための「学習計画」づくりを行っています。これは、教科ごとに、どの教材のどの範囲をいつまでに完了させるかを自分で決め、週ごとに確認・評価できるようにするものです。

第I期は9月前半からシルバーウィークを経てスタディーサポート実施日である9月24日までとしました。事前学習の教材として、英国数のワークブック「スタディーチャージ」を用意しましたが、実施後の点検では、多くの諸君が、まだまだ効果的な対策が可能な状況のように見受けられます。

第II期は11月6日(金)の「進研模試」までの期間として、現在実行中です。第I期の振り返りを踏まえ、十分な対策を講じるよう、考えたいところです。ホームルームで学習方法などを話し合うなどして、互いに協力のなかで実力を養っていく環境をつくりましょう。

科目	期間	目標	学習内容		
			教材	内容・範囲	期限
国語	第I期	スタサポA2	スゲー'イチャージ'	古文・知識 p70～p68	9/10まで

#### ■ 基礎力増強を。中間考査を経て「進研模試11月」へ。毎日の「授業」がその対策。疑問を残さず理解深化を

1・2年次の全国順位は計6回の「進研模試」で測ります。

【1年次】①7月 ⇒ ②11月 ⇒ ③1月

【2年次】④7月 ⇒ ⑤11月 ⇒ ⑥1月

#### 次回進研模試(1・2年) 11月6日(金)

その他にも河合塾「全統模試」など、受験力を意識した数々の全国模試にチャレンジしています。また、試験タイプに合わせた対策模試にも取り組みます。

#### ■ 関心分野を徹底探求「課題研究レポート」活動開始

1・2年「特進Sコースの時間」(火曜日第8時限)

Sコース1・2学年は、今学期進路学習の一環として、各自が自己の関心をもとにテーマを定めて研究する「課題研究レポート」の取り組みを始めました。これは、各自が自分の好きな「教科・科目」や、興味関心のある「学問分野」などのなかから、何らかのテーマを見つけ、それを調べ、考える活動です。2年生は、学部・学科・専攻などを、1年生は、文系・理系の選択を考えるための素材とすることにもつながります。

〔研究計画(日程)〕\*\*\*\*\*

##### 1 計画(期間・時間)

【第1期】…… 9月・10月

テーマ(1)を決めて、調べてみよう

【第2期】…… 11月・12月

テーマ(2)を決めて、調べてみよう

【第3期】…… 1月

レポートを書いてみよう

〔活動機会〕\*\*\*\*\*

【一斉活動】原則として毎週1回 火曜第8時限を充てます(※行事等の事情により変更になることがあります)。

【個別活動】各自が自主学習の一環として、放課後や在宅時などに行います。

〔主な取り組み(第1期)〕\*\*\*\*\*

第一段階としては、各自が、自分がどんな分野に関心があるのかを探る作業。好きな教科・単元、趣味や特技、日常生活の中で関心を抱いていることなどをどんどん書き出してみ、その特徴や傾向を考えながら整理します。

自分の関心がいくつかの分野に絞られてきたら、第二段階へと進みます。それぞれの分野について、各教科の教科書のほか、いろいろな書籍・新聞、インターネットなど様々な媒体から自分の力で情報を集め、深めます。

そうして自分なりのテーマが決まったら、後にそれをレポートにまとめるための「研究」へと進みます。レポート作成は来年1月。「研究ノート」や「スクラップ・ノート」などを作りながら、各自が先生方の助言を受けながら、論考を行っていきます。

学校での取り組みは週一回となり、主な取り組みは各自がそれぞれ自主学習として行います。興味関心分野を探ることのなかで、各自が「自分」について、また「社会」について考えてゆくことを目指します。

#### コラム② Sコース生としてまずは「英語」と「得意科目」を

受験では、科目のなかに強みとなる武器を持つ

文系理系いずれの大学を目指すにも、必須となるのはまず「英語」。苦手意識のある人も多いようですが、根気強く取り組んでその力をつけておくと、進路上の選択肢が大幅に増えることになります。

さらに「自分にはこれがある」といえる「得意科目」も「強み」ですからしっかり持ちたいところです。上記の「課題研究レポート」は、自分の興味関心をきっかけに得意科目を見出し、強化するための活動でもあります。学部・学科を決める重要素であり、受験の強力な武器ともなる「得意科目」。あなたにとってはどの科目ですか。

〔3年生の取り組み〕(9月～10月)

■3年生の本格受験体制がスタート。

01 大学入試センター試験出願手続説明会

9月9日(水)。大学受験の第一関門である「大学入試センター試験」の出願を前に、3年生対象の出願説明会を開きました。Sコースでは、このいわゆる「センター試験」を全員が受験します。説明会に参加した面々は、互いに受験への意志を確かめ合っていたようです。

説明会の後はそれぞれが、自分の手で「願書」を作成。文字を一つずつ書き入れる緊張した面持ちの中には、皆の決意のほどが伺えます。これからおよそ4ヶ月間にわたる準備を経、試験本番は来年1月16日(土)・17日(日)。焦らず着実に取り組みを重ねて参りましょう。

02 防衛大学校受験希望者説明会

センター試験の出願とあわせ、3年生がこの時期検討するのが国立の大学校である防衛大学校への挑戦です。防衛大学校の入学試験は、他の国立大学に先駆けて実施されることから、冬期に行われる一般試験受験の前哨戦ともいえるものです。Sコースからは、過去に実際に進学した先輩もいます。今年度の日程は一般前期の場合一次試験が11月7日(土)・8日(日)、二次試験が12月8日(火)～12日(土)の指定された日となります。Sコースとしては3年生の希望者対象に9月12日(土)に出願説明会を行っていますが、試験時期が一部国公立大学及び、私立大学の推薦入試と重なることから、秋口の試験として、いずれを選択するかは熟考が必要です。12年生諸君は今から情報を集めておくとうよいでしょう。

03 Sコース3学年集会で受験に向けた決意固めを

10月1日(木)第8時限。コース活動の時間にSコース3学年対象のコース集会を行いました。本格的受験体制へと突入したこの時点で、コース生全員が「目標」と、その達成に向けた「心構え」・「なすべきこと」について確認することが目的です。一人ひとりの進路はそれぞれ異なるとはいえ、長きにわたる受験のなかで、苦しさから弱気になってしまいがちな点では、だれでも同じだといえます。しかし入学以来、コース生同士が同じ「目標」のもと、ともに闘ってきたという実感は、一人きりでは困難な局面を乗り越える大きな力になるものですから、それを折に触れて確かめます。「一人ひとりの生き方考え方を尊重し合い、互いの挑戦を応援し合おう。」Sコースではこれまでずっと、その思いをもって、生徒も教師も学園生活を送ってきました。諸君は誰もが、1日8時間に及ぶ授業、早朝0時間目や放課後遅くの課外や自主学習、たくさんの模擬試験にも果敢に挑んできました。そういう同じ苦労を共有してきた仲間としての信頼が、これからの困難な時期を支えるものとなるでしょう。

04 中間考査終了 特別編成授業Ⅰ期スタート

第2学期の中間考査後、ST・Sコースの日課は、大学受験体制としての特別編成へと移行します。第Ⅰ期(10月17日～期末考査前日まで)は時間割をそのままに、授業内容が「演習」を盛り込むなど実践対応型の内容に変わります。「演習」は、そこから課題を見出し、その対処を講じるために行うものです。よってここからは「復習」を確実に行うためのスタイルをつくることが重要なテーマとなります。しっかり考えてゆきましょう。

■【Topics】ST・Sコース 第2学期前半の「話題」

■もうすぐ「カナダ」へ。2年生修学旅行準備進行中  
手続を重ねつつ次第に高まる期待感。あと2ヶ月

12月。ST・Sコース2年生は北米大陸の「カナダ」へと旅立ちます。夏以来、パスポートの取得や各種渡航書類の作成などに取り組んできました。出発までおよそ2ヶ月となり、生徒諸君の期待は、徐々に高まりつつあるようです。現在「修学旅行実行委員会」の面々が、コース生諸君の意見を集約しつつ、より内容の濃い「旅」にしようと検討を重ねています。

【現時点での主な取り組み(計画)】\*\*\*\*\*

- ・現地一般家庭へのホームステイ(3泊)
- ・現地高校生との交流会
- ・UBCブリティッシュコロンビア大学の見学会
- ・スポーツアクティビティ
- ・バンクーバー市内の観光 ほかいろいろ。

※計画は変更になることがあります。

7日間のプログラムのなかでは、さまざまな「学び」が盛り込まれています。なかでも旅行中に出会うたくさんの人とのコミュニケーションは、特に重視したい要素です。住む場所も暮らしぶりも異なる人々との交流から、どんなものを得られるか、期待の大きいところです。もちろん海外旅行・滞在は初めてという人が多く、不安に感じることもあるかもしれません。しかし心配には及びません。これまでこの「旅」を経験した先輩方も、行く前こそ心配したようですが、実施後の感想では「行ってよかった」が大勢でした。2年生諸君どうぞお楽しみに。

■「お待たせしました」校舎耐震補強・リニューアル工事完了。新たな環境のもと、秋の学習生活をスタート!

Sコース12年生は2号館最上階・3年生は職員の階上

昨年度から続いた校舎改築工事が終わり、Sコース各クラスは仮設校舎から本校舎へと大移動。3年生は受験学習体制を考慮した3号館、12年生は街を見渡す見晴らし階ともいえる2号館4階へ。木目をあしらって明るく温かみのある教室や廊下、自由な交流空間となるロビーやホール、学校生活のあり方をかたちにした玄関口や手洗い。これら大きく改善・整理された施設のなかで、私たちの新生活が、そして90年の歴史の新たな1ページがスタートします。大切に綴ってゆきたいですね。

【今号の言葉】『コギト・エルゴ・スム』(我思う故に我あり) by ルネ・デカルト…近代社会の曙を告げる一言。良くも悪くも私たちの意識の根底にある。「考えているとき、私は存在しているといえる」【発展】⇒二元的世界観

■第2号「後記」特進Sコース生諸君へ

「まじめに人生から教訓を受けたいのです」(『こころ』漱石)

10月16日(金)。今年度初めて、Sコースとしての全員集会を開きました。校舎改築が終わりようやくコース一体としてのスタートです。これから年度の後半戦。先輩諸君は先輩の姿に明秀日立を学んでください。先輩諸氏は、自らの心をもって後輩を導いて下さい。人生を真剣に生きる者同士、互いに敬意を抱きつつ。⑥